

IPアドレス、ドメイン名、インターネットガ バナンス 2013

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター
IP事業部・インターネット推進部 奥谷泉

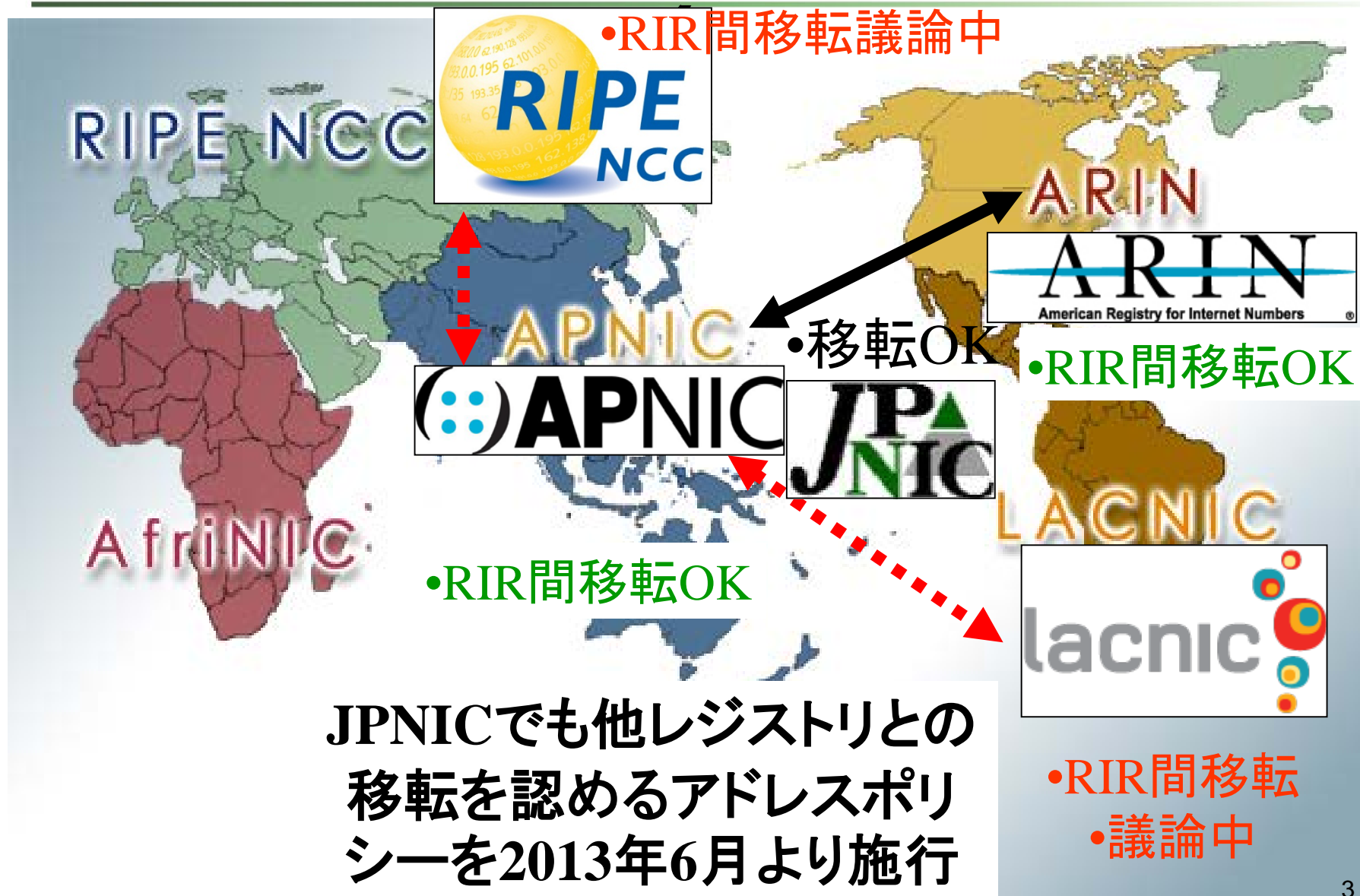
2013年 キーワード

- IPアドレス:
「分配済IPv4に関する基準整備の継続」
- ドメイン名:
「新gTLDの委任開始」
- インターネットガバナンス:
「モンテビデオ声明とそれ以降の動き」

IPアドレス



他レジストリとのIPv4アドレスの移転



JPNICでも他レジストリとの
移転を認めるアドレスポリ
シーを2013年6月より施行

返却されたIPv4アドレスの分配

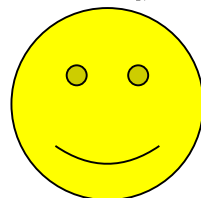
未分配アドレス: 約82%

最後の/8在庫: 103/8

返却アドレス在庫

最小割り振りサイズ: /22

最小割り振りサイズ: /22



New !

103/8在庫からの分配に加え、
返却在庫から別途分配を受けることも認める

施行開始時期: IANAからAPNICへの返却アドレスの
分配が行われた時点

APNIC地域でコンセンサス、
JPではJPOPM25で議論

IPv6アドレスに関する情報発信・計測

- 大きな分配ポリシーの見直しは一段落
- どのRIRも導入に向けた情報発信、教育に注力

Other activities at APNIC Labs:

ISOCのWorld IPv6
Launchのウェブサイトでも
実装状況を確認可能

APNIC地域では
APNICとNIRで地域・
経済圏単位の計測情報
の共有も検討中
@IPv6 Measurement BoF

Blabs at Labs

What are we up to? What are we finding interesting at the moment? What's on our mind? Follow our musings at blabs.apnic.net

Our presentations are held in the [Labs Presentation Store](#).

IPv6 Capability Tracker

If you are interested in measuring your clients' IPv6 capabilities, you can use the [APNIC Labs Google Analytics Tracking Code](#).

Measuring IPv6

The measurement activity, and the way in which we undertake these measurements is described at blabs.apnic.net/measureipv6/.

IPv6 preference by ASN

We're now collating IPv6 client capability by [Autonomous System \(AS\) Number](#).

Graphs and data for the highest ranking AS are being tabulated

IPv4 Address Report

We've revised the IPv4 Address Report and updated the statistical model to provide further insight into the confidence level of the predictions of IPv4 free pool

IP Number Distributions

This set of reports measures the distribution of IP number resources (IPv4, IPv6 and AS Numbers) on a per-economy basis. The reports measure the allocated, advertised and

IPv6@APNIC

<http://www.apnic.net/community/ipv6-program>



ols for
show
er \$ of
r. This
ort of

ドメイン名



新gTLDプログラム：委任始まる

- gTLD数の大幅な増加
 - 2000年以前(ICANN設立前): 7 → 2011年: 21 → 今後順次委任されて、最終的に1,500以上か？
 - <https://gtldresult.icann.org/application-result/applicationstatus>
- 国際化ドメイン名が優先処理され、2013年10月23日に四つがルートDNSに追加され、その後も順次追加されている (2013年11月27日時点32件)
 - 「.شبكة」 「.онлайн」 「.сайт」 「.游戏」

一覧は次ページ

うち日本語10件は
すべて日本以外
から申請

現在有効な申請数:	1,798件
国際化ドメイン名 (IDN):	110件
日本からの申請:	69件

参考：委任完了した新gTLD(11月27日現在)

みんな (xn--q9jyb4c)	DIAMONDS	TIPS
PHOTOGRAPHY	DIRECTORY	ENTERPRISES
KITCHEN	KITCHEN	TODAY
PLUMBING	GRAPHICS	CONTRACTORS
GALLERY	SEXY	CONSTRUCTION
TATTOO	TECHNOLOGY	ESTATE
LAND	BIKE	VENTURES
CAMERA	CLOTHING	LIGHTING
SINGLES	VOYAGE	GURU
HOLDINGS	EQUIPMENT	شبكة (xn--ngbc5azd) – アラビア文字表記で「Web/ネットワーク」という意味
онлайн (xn--80asehdb) – キリル文字表記で「オンライン」という意味	сайт (xn--80aswg) – キリル文字表記で「サイト」という意味	游戏(xn--unup4y) – 簡体字中国語表記で「ゲーム」という意味

新gTLDの導入に伴う対応

- ICANNは公共の利益も意識
 - 新gTLD申請者による公共性の誓約(PIC)
 - IPv6とDNSSEC対応が契約上義務付けられる
 - 新gTLDの導入に伴う競争、消費者の信頼性と選択肢の評価分析
- gTLD WHOISの見直し
 - 各gTLDのWHOIS情報を集約したWHOISの検討：
<http://buenosaires48.icann.org/en/schedule/wed-rds/presentation-rds-20nov13-en.pdf>
 - 連絡先情報の登録代行サービスと個人情報のプライバシーに関する検討開始
 - WHOISの技術的な要件についての調査

申請者以外への影響

- 新たな商標保護の仕組みの導入
 - 商標保護データベース(TMCH)提供:
 - <http://trademark-clearinghouse.com/ja>
 - URS(統一早期凍結)
 - PDDRP(委任後紛争解決手続き)
- 内部ネットワークで利用している名前との衝突(Name Collision)
 - 内部に閉じるべきDNSクエリが外に漏れているケース
 - 名前解決できてしまうことによる内部ネットワークへの想定しない影響
- 内部利用名に対して発行された証明書の問題

SSAC勧告: SAC057、SAC062

<http://www.icann.org/en/groups/ssac/documents>

今後

- Name collisionなどの技術的な課題
 - ICANNでは2014年にその他対応策を発表予定、それまでに幅広く対応策への意見を募集中：
namespacestudy@jasadvisors.com
 - JPNICでも検討チームを編成して既存ドキュメントのスタディ、情報把握の上情報提供を予定
 - 具体的な問題ケースなど情報があれば歓迎
- gTLD WHOISのあり方
 - 各gTLDのWHOIS情報を集約したWHOISについては
“input-to-ewg@icann.org”で意見募集中

インターネットガバナンス



一般社団法人 日本ネットワークインフォメーションセンター

Copyright© 2013 Japan Network Information Center

Internet Governance Forum (IGF)

- IGF: インターネットガバナンスフォーラム
 - WSISチュニスアジェンダで開催が定められた、国連主催のインターネットガバナンスに関する対話の場
 - 政府関係者、技術コミュニティ、市民社会など顔を揃える
- 2013年10月 IGFバリ会議
 - メインテーマはマルチステークホルダーによる協力の拡張・強化
 - セキュリティと監視に大きく着目

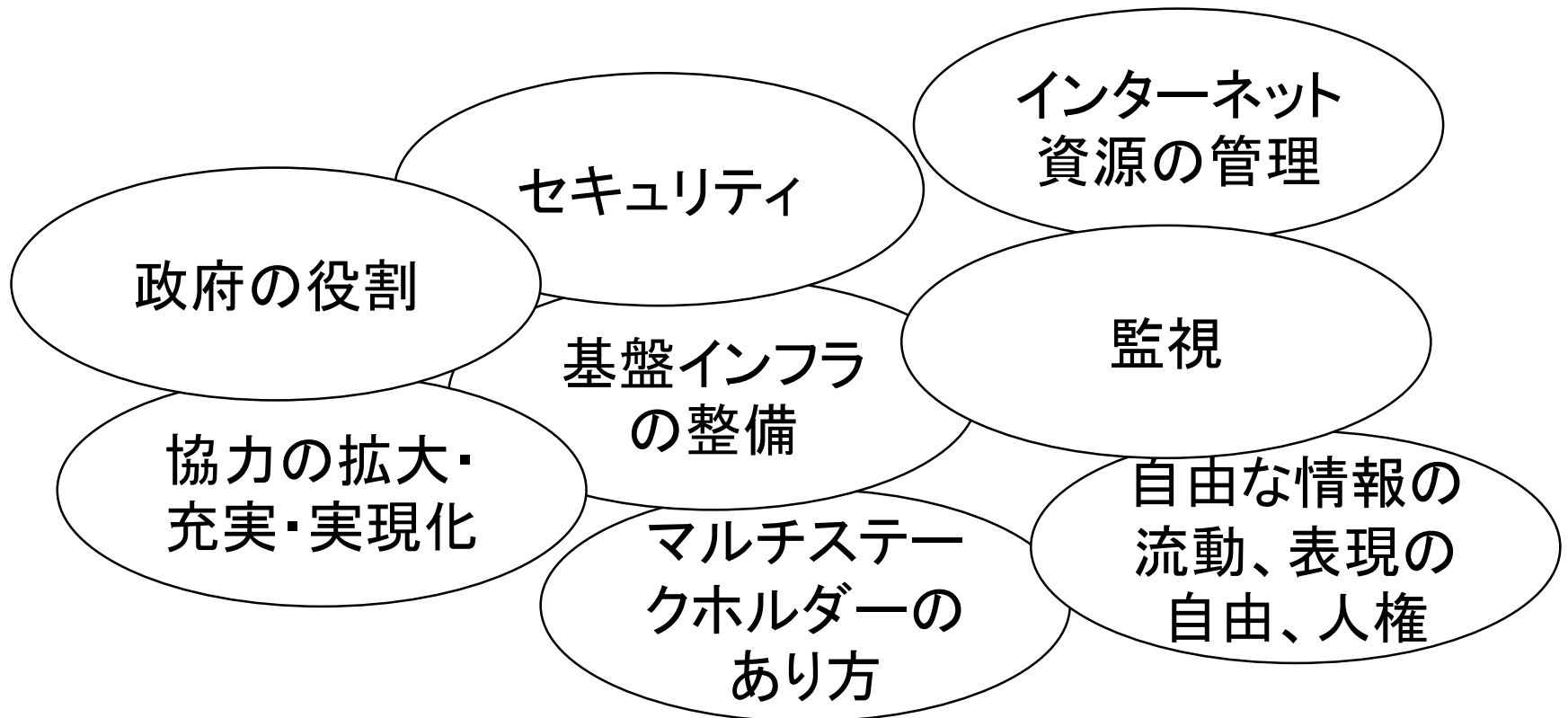
Focus Sessionのテーマ:

「マルチステークホルダーにおける政府の役割」、「インターネットガバナンスの原則」、「マルチステークホルダーの原則」、「基盤整備と成長」、「人権・プライバシー・表現の自由」、「セキュリティ」、「監視」¹³

セキュリティと監視に関する議論@メインセッション

- セキュリティ
 - CERTの活動、政府、法執行機関との連携
 - 技術的な連携に加え、外交ルートからの協力依頼
 - 現実社会での違法行為はオンラインでも違法と見なすべきでは
 - インターネットはグローバルだが、法制は国レベルで行っていることにどう対応していくか
- 広く浸透している監視活動
 - 人権、プライバシーの尊重について異論はなし
 - スイス政府からは、監視における7原則を紹介
 - 具体的に何が許容されるか方向性は確認されていない

議論の対象は多岐に亘る



- “Internet Governance Orphans”: 対応主体・引き取り手が見つからない課題: 自分の関わっている分野での姿勢、正確な情報の共有、対応を示すことが大切
- ICANNはICANNの役割、関わり方について検討開始

モンテビデオ声明

- <https://www.nic.ad.jp/ja/topics/2013/20131008-01.html>

2013年10月8日

各位

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター

インターネット関連10回体が 「今後のインターネット協力体制に関するモンテビデオ声明」を発表

グローバルなインターネットの技術調整を行う10回体(IAB、ICANN、IETF、ISOC、W3Cおよび五つの地域インターネットレジストリ(RIR))は、2013年10月7日、「今後のインターネット協力体制に関するモンテビデオ声明」と題した声明文を、共同で発表しました。

この声明文は、現在インターネットの運営にあたり、特に関心事である「グローバルに調和の取れたインターネット運営」「インターネットガバナンス」「ICANNとIANA機能のグローバル化」「IPv6移行」の4点に対し、10回体共通の姿勢を表明するもので、先週モンテビデオで実施された共同検討会合の結果として発表されたものです。

JPNICでは、この声明発表についてお知らせするとともに、参考までに和訳もあわせて提供します。

今後のインターネット協力体制に関するモンテビデオ声明(和訳)

ウルグアイ 2013年10月7日

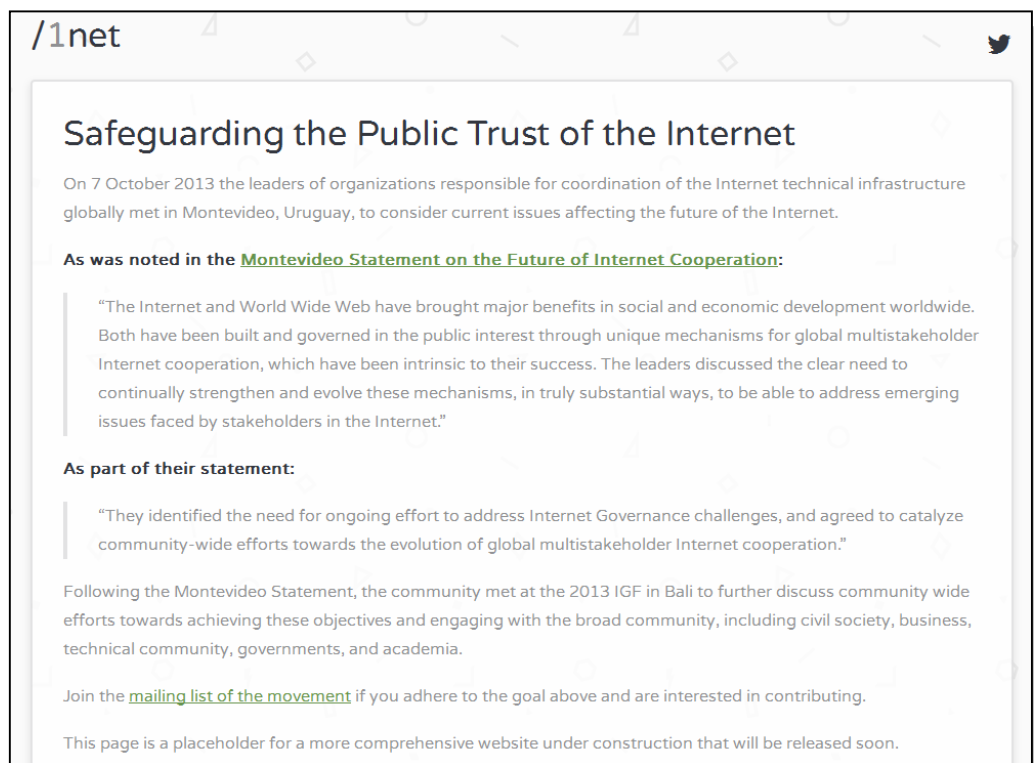
グローバルなインターネット技術基盤の調整に責任を持つ諸団体のリーダーたちは、ウルグアイのモンテビデオで会合を持ち、今後のインターネットに影響を及ぼす課題に関して検討しました。

4つの見解

- グローバルに調和の取れたインターネット運営が重要であることをあらためて強調するとともに、**国家レベルでのインターネットの分断に警鐘**を鳴らす。最近明るみに出た**広範に浸透している監視活動**により、全世界の利用者の、インターネットに対する信頼と信任が損なわれる結果となっていることに、**強い懸念を表明**する
- インターネットガバナンスの諸課題に対処する努力を続ける必要性を確認するとともに、**インターネットにおけるグローバルなマルチステークホルダーによる協力体制の発展に向けた、全コミュニティに渡る努力を、協調的に推進**していく
- すべての政府を含む、すべてのステークホルダーが対等の関係で参加する環境に向けて、**ICANNとIANA機能のグローバル化の加速**を呼びかける
- 現在もグローバルな最優先課題である、**IPv6移行**を呼びかける。特に、インターネットのコンテンツ事業者は、グローバルインターネットにおいて完全に到達可能となるために、**IPv4、IPv6両方でコンテンツを提供**しなければならない

IGF以降の動き

- IETF88でセキュリティと監視に関する方針を議論
- ブラジルでの会議開催日程(2014/4/23-24)発表
- <http://www.1net.org/> マルチステークホルダーの検討プラットフォームの始動
 - メーリングリスト



The screenshot shows a webpage from /1net with the following content:

Safeguarding the Public Trust of the Internet

On 7 October 2013 the leaders of organizations responsible for coordination of the Internet technical infrastructure globally met in Montevideo, Uruguay, to consider current issues affecting the future of the Internet.

As was noted in the [Montevideo Statement on the Future of Internet Cooperation](#):

“The Internet and World Wide Web have brought major benefits in social and economic development worldwide. Both have been built and governed in the public interest through unique mechanisms for global multistakeholder Internet cooperation, which have been intrinsic to their success. The leaders discussed the clear need to continually strengthen and evolve these mechanisms, in truly substantial ways, to be able to address emerging issues faced by stakeholders in the Internet.”

As part of their statement:

“They identified the need for ongoing effort to address Internet Governance challenges, and agreed to catalyze community-wide efforts towards the evolution of global multistakeholder Internet cooperation.”

Following the Montevideo Statement, the community met at the 2013 IGF in Bali to further discuss community wide efforts towards achieving these objectives and engaging with the broad community, including civil society, business, technical community, governments, and academia.

Join the [mailing list of the movement](#) if you adhere to the goal above and are interested in contributing.

This page is a placeholder for a more comprehensive website under construction that will be released soon.

今後の流れ

- 2013/12/16～17 WSIS+10 MSH準備会議ph3
- 2014/1 or /2 CSTD WGEC
- 2014/2/17～18 WSIS+10 MSH準備会議ph4
- 2014/2/18～28 APRICOT2014@バンコク
- 2014/3/23～27 ICANNシンガポール会議
- 2014/4/13～18 WSIS+10 ハイレベル会合
- 2014/4/23～24 サンパウロIGミーティング
- 2014/5/6～15 ITU理事会
- 2014/6/22～26 ICANNロンドン会議
- 2014/10/20～11/7 ITU全権委員会会議(釜山)
- 2015 国連総会(W SIS+10)

– <http://bestbits.net/wp-uploads/diagram.html> に詳細線表あり

まとめ

- IPアドレス
 - IPv4アドレスは有効利用に向けたポリシー整備継続、IPv6は情報発信・教育に注力
- ドメイン名
 - 現在はgTLDを取り巻く状況が着目、申請者以外への影響も考慮
- インターネットガバナンス
 - IGFではセキュリティと監視が大きなテーマ
 - 新たなインターネット協力調整体制論への動きに注視が必要
 - インターネットの運用に関わる議題について、それぞれ関わっている立場からの正確な情報提供、対応の提示が重要